

知的障害教育課程の

お助けツール

— 実態把握から学習評価まで —

使い方ガイド

※このガイドでは、以下のとおり表記しています。

「知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校」⇒「知的障害特別支援学校」

「各教科等を合わせた指導」⇒「合わせた指導」

千葉県総合教育センター 特別支援教育部

ツールの構成内容

入力を始める前、次の手順に迷ったときや学級の人数などに変更があったときなどに確認、入力する

① 作業手順シート

【シート見出し：作業手順】

- ツールの全体像や作業手順を確認するためのシート
- ・ツールの全体像、各シートの役割とシート間の関連、作業手順の確認ができる
- ・作業途中でこのシートに戻ること、次の手順を確認することができる

② 初期設定シート

【シート見出し：初期設定】

- ツール全体の設定を行うためのシート
- ・必要事項を順に設定することで、入力のためのシートや表の枠組みなどが自動で整う
- ・年度途中で学級の人数が増えた場合など、新たなシートや表が必要になったときは、再度このシートの変更が必要

ツールの
解説と初期設定

初期設定を行うことで、シートの様式が完成

人数分のシートに入力する

③ 各教科等目標設定シート

【シート見出し：A～H】

- 児童生徒の各教科等の実態把握と目標設定を行うためのシート
- ・知的障害特別支援学校における各教科等の段階の目標を参照しながら、児童生徒個々の実態把握を行う
- ・実態把握を基に、各教科等の目標と内容を設定する

④ 自立活動目標設定シート

【シート見出し：○自】

- 児童生徒の自立活動の実態把握と目標設定を行うためのシート
- ・実態把握から自立活動の目標を設定し、具体的な指導場面や学期ごとの指導目標を記入する

実態把握と
目標設定

目標、内容の
リンク
(自動転記)

合わせた指導を行う場合、手順を順番にクリックしながら入力を進める

⑤ 各教科等を合わせた指導 教科等別シート

【シート見出し：合教科(○)】

- 各教科等の指導内容を基に、合わせた指導の指導形態を検討するためのシート
- ・手順に沿って順にクリックすることで⑥とリンクし、指導形態、単元の検討を行うことができる
- ・③、④で入力した内容を、合わせた指導のどの指導形態で取り扱うかを検討し、記入する
- ・目安となる各教科等の指導時数が算出され、時数の偏りなどを確認することができる

⑥ 各教科等を合わせた指導 単元別シート

【シート見出し：合単元(○)】

- 指導内容と指導形態を基に、合わせた指導の単元を計画するためのシート
- ・⑤とリンクして、合わせた指導の単元ごとに、どの教科等のどの内容を合わせて行うかを検討することができる
- ・単元ごとに各教科等の指導時数を入力することで、時数が⑤に自動入力される

各教科等の
内容に基づく、
合わせた指導の
単元設定

学習評価及び次期の目標設定を行う

⑦ 個別の指導計画シート

【シート見出し：計○】

- 個別の指導計画を作成するためのシート
- ・③、④から自動入力された目標、内容に関して、3観点で評価を記入する
- ・次期の目標設定のための記入欄を活用して、次期の目標の検討ができる

個別の指導計画の
作成

各教科等を合わせた指導について

1 各教科等を合わせた指導とは

各教科等を合わせた指導（以下、合わせた指導）については、学校教育法施行規則第 130 条 2 で次のように示されています。

特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、特別の教科である道徳（中略）、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部または一部について、合わせて授業を行うことができる。
(学校教育法施行規則第 130 条 2)

知的障害特別支援学校においては、児童生徒の学校での生活を基盤として、学習や生活の流れに即して学んでいくことが効果的であることから、従前から、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして、合わせた指導が実践されてきています。

ここでいう知的障害特別支援学校の各教科とは、次のように、小学部は 6 教科、中学部は 8 教科となっています。

また、各教科の目標及び内容は、対象となる児童生徒の学力などが、同一学年であっても、知的障害の状態や経験等が様々であり、個人差も大きいので、学年別に示さず、小学部は 3 段階、中学部は 2 段階で示しています。

知的障害特別支援学校 小学部の各教科	生 活	国 語	算 数	音 楽	図 工	体 育		
知的障害特別支援学校 中学部の各教科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	職 業 ・ 家 庭

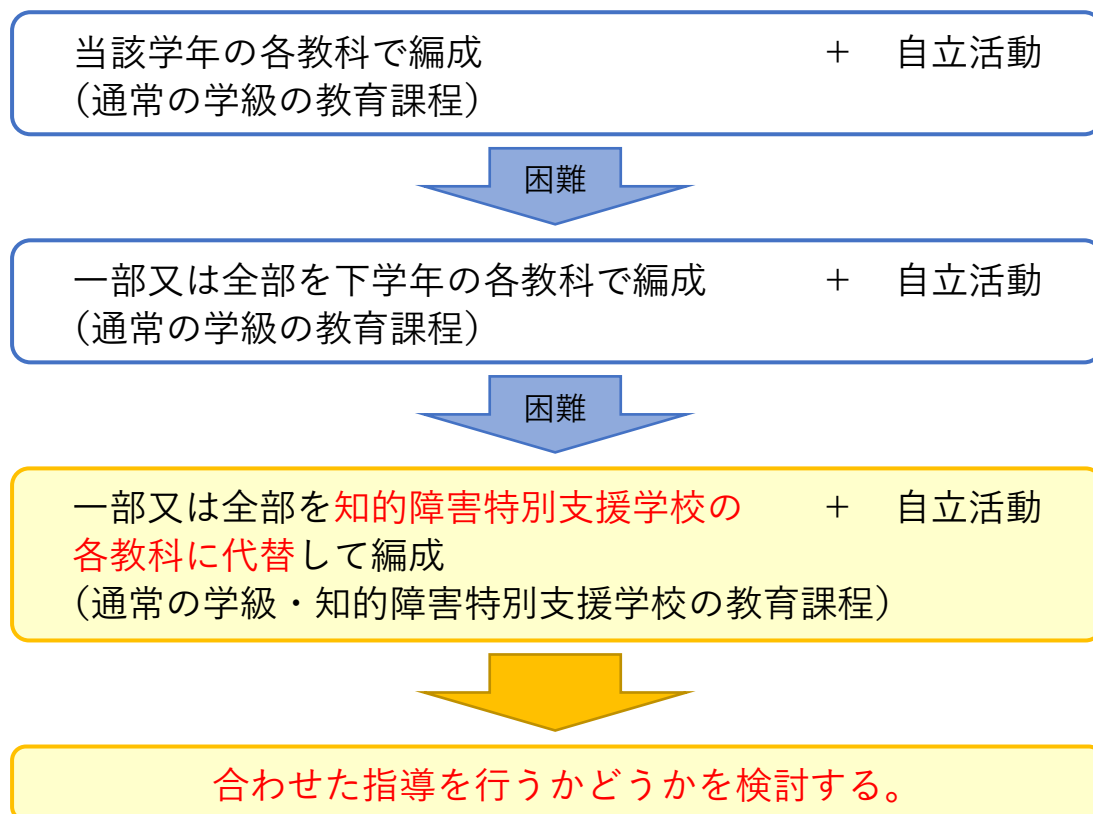
※外国語（必要に応じて設けることができる）

※小学校で取り扱うのは知的障害特別支援学校小学部の各教科、中学校で取り扱うのは知的障害特別支援学校小学部・中学部の各教科の目標及び内容

2 知的障害特別支援学級で合わせた指導を行う場合

前述の通り、合わせた指導は、知的障害特別支援学校の各教科等を合わせることであり、小・中学校の知的障害特別支援学級では、児童生徒の実態から、合わせた指導を行うかどうかを検討する必要があります。

特別支援学級における特別の教育課程の編成の考え方を以下に示します。



児童生徒の実態から、各教科の一部又は全部を知的障害特別支援学校の各教科に代替して教育課程を編成する場合に、合わせた指導を行うかどうかを検討することができます。

本ツールの「各教科等目標設定シート」では、知的障害特別支援学校の各教科の段階表を参照することができます。

合わせた指導を行う場合には、児童生徒の実態を知的障害特別支援学校の各教科の段階表でチェックしましょう。

- ★ 参考：「インクルーシブ教育システムの推進を目指す特別支援学級の教育課程編成・実施ガイドブック」（国立特別支援総合研究所）
「特別支援学級担当者の専門性向上パッケージ」（千葉県総合教育センター）

各シートの説明書



入力を始める前に



<エラー・不具合等の報告、お問い合わせは>
千葉県総合教育センター特別支援教育部
mail : sosetokusi@chiba-c.ed.jp

表計算ソフト「Excel」が使えるパソコン等で、マクロを有効にしてから入力を始めてください（マクロを有効にする方法は、『お助けツール』の「作業手順」シートを参照）

各シートの削除や、シート見出しの名前の変更は行わないでください（不具合の原因となります）

入力中にエラーや不具合が生じた際は、上記連絡先までメールにて御連絡ください

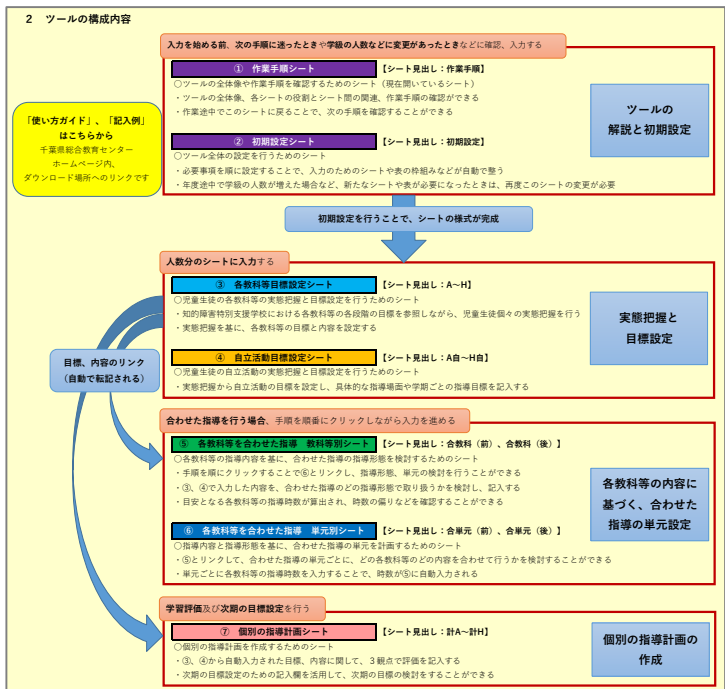
作業手順シート

確認できること

- ・ ツールの全体像
- ・ 各シートの役割
- ・ 各シート間の関連
- ・ 作業の手順



- 見通しをもってツールへの入力を進めることができる
- 入力途中でも作業の手順や各シートの役割を確認することができる



初期設定シート

1 学級の人数を選択する

1 学級の人数は？

※作業途中での修正や人数の変更などがあった際は、再度人数をクリックしてください。

1名 2名 3名 4名
5名 6名 7名 8名

学級の人数（シートを作成する人数）をクリックすると、人数分のシートが表示される

※2名を選択した例

作業手順 初期設定 A B A目 B目 計A 計B

違う人数をクリックしてしまったり、修正が必要になったりしたときは、再度表示したい人数をクリックする

2 各教科等を合わせた指導を行うかどうかを選択する

「行う」をクリックすると、「2-1」「2-2」の行と、合わせた指導に関わるシートが表示される

2 合わせた指導を行いますか？

※合わせた指導を行う場合は、「行う」を選んでください。

行う

行わない

「行わない」場合は、そのまま「3」に進む

2-1 学級には何年生の児童が在籍していますか？

1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生

修正が必要な場合は、一つずつ非表示にします

1年生 (非表示) 2年生 (非表示) 3年生 (非表示)
4年生 (非表示) 5年生 (非表示) 6年生 (非表示)

間違えて「行う」をクリックした場合は、再度「行わない」をクリックする

2-2 表にある各教科等の適当な授業時数を、学年ごとに入力してください。

※学級に在籍する児童生徒の学年について、**時間割にある適当な授業時数**を、下の表に合わせて入力してください。

※「生活」は、知的障害特別支援学校小学校部の生活科のことです。小学校の生活科とは異なります。

	生活	国語	算数	音楽	図画工作	体育	外国語活動	道徳	特別活動	自立活動
1年生										
2年生										
3年生										
4年生										
5年生										
6年生										

どのような場合に合わせた指導を行うかについては、『各教科等を合わせた指導について』を参考にしてください

初期設定 A B A目 B目 合教科(前) 合教科(後) 時数 合単元(前) 合単元(後) 計A 計B

準備完了

(合わせた指導を行う場合)

2-1 学級に在籍する児童生徒の学年を選択する

2-1 学級には何年生の児童が在籍していますか？

1年生	2年生	3年生
4年生	5年生	6年生

修正が必要な場合は、一つずつ非表示にします

1年生 (非表示)	2年生 (非表示)	3年生 (非表示)
4年生 (非表示)	5年生 (非表示)	6年生 (非表示)

学年をクリックすると、授業時数の表に学年が表示される

学年、学年ごとに入力してください。

時間割にある週当たりの授業時数を、下の表

学年を間違えてクリックした際や、修正が必要になった際には、該当の学年の「非表示」を選択する

※「生活」は、知的障害特別支援学校小学部の生活科のことです。小学校の生活科とは異なります。

	生活	国語	算数	音楽	図画工作	体育	外国語活動	道徳	特別活動	自立活動	その他
3年生											
4年生											

学級に在籍する児童生徒の学年をすべて（複数）選択する
※ 3、4年生が在籍している例

(合わせた指導を行う場合)

2-2 時間割にある各教科等の週当たりの授業時数を入力する

児童生徒の学年ごとに、各教科等の週当たりの授業時数を入力する
(プルダウンからも入力可能)

2-2 表にある各教科等の週当たり授業時数を、学年ごとに入力してください。

※学級に在籍する児童生徒の学年について、時間割にある週当たりの授業時数の表に合わせて入力してください。

※「生活」は、知的障害特別支援学校小学部の生活科のことです。小学校の生活科とは異なります。

	生活	国語	算数	音楽	図画工作	体育	外国語活動	道徳	特別活動	自立活動	その他
3年生		5	5	1	1	1					
4年生											

合わせた指導で合わせることができる教科等（知的障害特別支援学校の教科等）の時数は、太枠内に教科等別に入力する

左以外の教科等の時数は、「その他」の欄に入力する
(例：小学校の理科や社会、小・中学校の技術・家庭科、合わせた指導 などの時数)

3 知的障害特別支援学校の各教科の目標・内容について、 学習指導要領を参照するかどうかを選択する

「表示する」をクリックすると、各教科の目標・内容のシートが表示される

3 知的障害特別支援学校の各教科の目標・内容を表示しますか？
※学習指導要領を参照する場合は「表示する」を選択します。

表示する

表示しない

表示を消す場合は、「表示しない」をクリックする



「特別支援学校学習指導要領解説
各教科等編（小学部・中学部）」
の各教科の目標・内容の一覧を
参照することができる

目標・内容の一覧〔生活〕			
学部	小学部		
教科の目標			
具体的な活動や体験を通して、生活に関わる見方・考え方を生かし、自立生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識及び技能	(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。		
思考力、判断力、表現力等	(2) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。		
学びに向かう力、人間性等	(3) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。		
段階の目標	1段階	2段階	3段階

目標・内容の一覧シート

目標・内容の一覧〔生活〕

学部	小学部		
教科の目標			
具体的な活動や体験を通して、生活に関わる見方・考え方を生かし、自立生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識及び技能	(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。		
思考力、判断力、表現力等	(2) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。		
学びに向かう力、人間性等	(3) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。		
段階の目標	1段階	2段階	3段階
知識及び技能	ア 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。	ア 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。	ア 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	イ 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。	イ 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを表現しようとする。	イ 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	ウ 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりをもち、意欲をもつて生かそうとしたりする。	ウ 自	ウ 自

『特別支援学校学習指導要領解説
各教科等編（小学部・中学部）』
平成30年3月 pp.550-610
より、「目標・内容の一覧」を
教科等ごとのシートに分けて
掲載している

右クリックすると、セルの色が変わる
児童生徒に適した目標・内容のセルの色を変える使い方ができる

各教科等目標設定シート

- ① 学年・学級、氏名を入力する
(このシートに入力すると、以降すべてのシートに転記される)

各教科等目

- ② 各教科等の実態の段階、学年をチェックする
(チェックは右クリックもしくはプルダウンから)

学年・学級		氏名		小学校版											
年 組		A													
教科等	目標及び内容	小学部 (段階)			小学校 (学年)						目標・内容				
		1	2	3	1	2	3	4	5	6	前期		後期		
											目標 ※(4)	内容	目標 ※(4)	内容	
生活 (特別支援学校)	ア 基本的生活習慣			●											
	イ 安全			●											
	ウ 日課・予定			●											
	エ 遊び			●											
	オ 人との関わり			●											
	カ 役割			●											
	キ 手伝い・仕事			●											
	ク 金銭の扱い			●											
	ケ きまり			●											
	コ 社会の仕組みと公共施設			●											
サ 生命・自然			●												
シ ものの仕組みと働き			●												

- ・ 実態把握のため、現在の児童生徒の段階にチェックする
(できている段階すべてにチェックするのではない)
- ・ 知的障害特別支援学校の教育課程において学習を行う場合、又は合わせた指導について検討する場合には、**知的障害特別支援学校の段階の実態把握 (チェック) を必ず行う**
- ・ 実態把握のため、すべての教科等についてチェックする

- ③ 三つの柱の観点で、目標設定を行う

学年・学級		氏名		小学校版											
年 組		A													
教科等	目標及び内容	小学部 (段階)			小学校 (学年)						目標・内容				
		1	2	3	1	2	3	4	5	6	前期		後期		
											目標 ※(4)	内容	目標 ※(4)	内容	
生活 (特別支援学校)	ア 基本的生活習慣			●											
	イ 安全			●											
	ウ 日課・予定			●											
	エ 遊び			●											
	オ 人との関わり			●											
	カ 役割			●											
	キ 手伝い・仕事			●											
	ク 金銭の扱い			●											
	ケ きまり			●											
	コ 社会の仕組みと公共施設			●											
サ 生命・自然			●												

学校探検や公園探検等を通して様々なことに気づき、気付いたことを絵や文に表すとともに、交流学級の友達や地域の方々など意欲的に交流することができる。

学校探検
公園探検
あいさつ

「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」

④ 目標を達成するための指導内容・活動内容を入力する
(箇条書きでも文章でもよい)

- ・ 「目標」は、色分けしたり箇条書きにしたりして、三つの柱について分けて入力する
- ・ 「内容」は、各教科等の時間で取り扱う内容だけでなく、合わせた指導で取り扱う内容についても、すべて入力する
- ・ 実態や教育課程により取り扱わない教科等については、「目標」「内容」の入力の必要はない



合わせた指導で合わせることができる教科等と 合わせることができない教科等について

国語	知識及び技能				
※ (特)2段階 同観点	A 聞くこと・話すこと				
国語	B 書くこと				
	C 読むこと				
社会 (小学校3～6年)					
算数	A 数と計算 (1段階 数量の基礎)				
	B 図形 (1段階 数と計算)				
	C 測定 (1段階 図形)				

知的障害特別支援学校の教科等は合わせることができる

知的障害特別支援学校の段階（ピンクの欄）にチェックが可能な教科等と、道徳、特別活動、自立活動

小・中学校の教科等は、合わせることができない

小学生の場合：理科、社会、生活（小1・2）
技術・家庭、外国語

中学生の場合：技術・家庭、総合的な学習の時間

合わせた指導で合わせることができるのは、知的障害特別支援学校の教科等のみ

知的障害特別支援学校の教育課程にある教科等であっても、小・中学校の教育課程の内容を取り扱う場合には合わせることができない

（知的障害特別支援学校の教科等の段階の内容は合わせることができるが、実際の学年や下学年の教科の学習内容は合わせることができない）



「各教科等目標設定シート」と 他のシートとのリンクについて

各教科等目標設定シート（各教科等チェックシート改訂版）

小学部・小学校版

「目標・内容」に入力した内容が自動的にリンクし、転記される

⇒ 『各教科等を合わせた指導 教科等別シート』
『個別の指導計画シート』へ

生活科				
ウ 日課・予定				●
エ 遊び				●
オ 人との関わり				●
カ 役割				●
キ 手伝い・仕事				●
ク 金銭の扱い		●		●
ケ きまり		●		●
コ 社会の仕組みと公共施設		●		●
サ 生命・自然				●
シ もの仕組みと働き				●

目標・内容			
前期		後期	
目標 ※(4)	内容	目標 ※(4)	内容
6	学校探検や公園探検等を通して様々なことに気付き、気付いたことを絵や文に表すとともに、交流学級の友達や地域の方々との意欲的に交流することができる。	学校探検 公園探検 あいさつ	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」



目標や内容、三つの柱の観点（評価の3観点）に迷ったら

教科等	生活 (特別支援学校)	生活科	小学部	小学校	目標・内容
	ア 基礎的・基本的な生活技能	イ 安全・安心な生活技能			
	ウ 自立した生活技能	エ 社会生活技能			
	オ 職業生活技能	カ 役割・責任			
		キ 手伝い・仕事			
特別活動 ※(3)	学級活動 児童会活動 クラブ活動 学校行事				「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」

各教科のボタンをクリックすることで、知的障害特別支援学校の各教科の目標・内容の一覧が表示される

※初期設定で「表示しない」を選んでいる場合、改めて表示するかどうかメッセージが表示される

外部サイトへのリンクをクリックすることで、『学習評価参考資料』が表示される

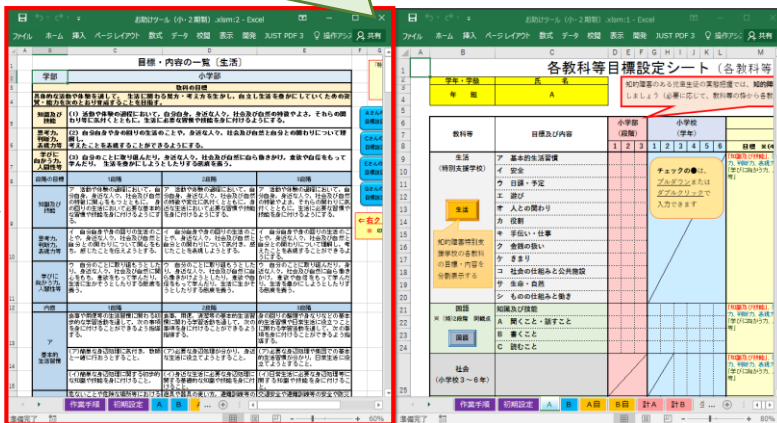
(参考) 外部サイトへのリンク
特別支援学校小学部・中学部
学習評価参考資料
令和2年4月 文部科学省



分割表示について

参照が済んだら、新たに開いたウィンドウを閉じる

ツール内で「分割表示」に関するボタンをクリックすると、自動的に画面を分割して新しいウィンドウが開く

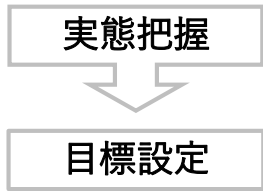


作業中のツールの他にExcelのファイルが開いている場合、ボタンをクリックしたときにすべてのファイルが分割表示（ファイル数に応じて3分割、4分割などで表示）されてしまう

3分割された例



自立活動目標設定シート



特別支援学校学習指導要領解説
自立活動編の流れ図の手順に
沿って目標設定ができる

実態把握

課題の整理

指導目標(年間)

選定した項目

指導内容

指導場面

目標

自立活動目標設定シート (自立活動アロースシート改訂版)

学年・学期: _____ 年 組 _____ 年 組 _____ 年 組

氏名: _____

障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ、課題等について
情報をまとめて、学習や生活の状況・様子を記載する

自立活動の区分に即して整理する

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション

○年後の姿の観点から整理する (生活年齢や卒業までの年数を考慮し、どのような力を育むとよいかを記載する)

実態把握をもとに、課題を抽出し、中心的な課題を導き出す

指導目標(年間)

選定した項目

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション

指導内容

指導場面

学年	場面	指導内容	学年	場面	指導内容

目標

学年	目標	学年	目標

自立活動目標設定シート

自立活動目標

① 学習や生活の状況・様子など、収集した情報を入力する
(課題だけでなく、興味・関心、長所やよさについても入力する)

障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ、課題等について
情報をまとめて、学習や生活の状況・様子を記載する

② 収集した情報を、自立活動の6区分に整理して入力する

自立活動の区分に即して整理する

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション

③ 将来の姿をイメージして指導・支援ができるように、学部卒業までなどの○年後までに
目指す姿を入力する

○年後の姿の観点から整理する (生活年齢や卒業までの年数を考慮し、どのような力を育むとよいかを記載する)

④ ③までに整理された情報から、中心的な課題を入力する

実態把握をもとに、課題を抽出し、中心的な課題を導き出す

自立活動目標設定シート

課題に基づき設定した指導目標（わらい）を記す

指導目標 (年間)	
--------------	--

⑤ いくつかの指導目標の中から、優先すべき目標を入力する

指導目標を達成するために必要な項目を選定する

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成			
選定した項目	①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①他者とのかかわりの基礎	①保有する感覚の活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能	①コミュニケーションの基礎的能力
	②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②他者の意図や感情の理解	②感覚・特性に合わせた対応	②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	②言語の受容と表出
	③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上又は生活上の困難を改善克服する意欲	③自己の理解と行動の調整	③感覚・特性が代行的に活用	③日常生活に必要な基本動作	③言語の形成と活用
	④障害の特性の理解と生活環境の調整		④集団への参加の基礎	④感覚を社会的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動	④身体の移動能力	④コミュニケーション手段の選択と活用
	⑤健康状態の維持・改善			⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行	⑤状況に応じたコミュニケーション

⑥ 目標の達成のために必要な項目を選定する
※ 右クリックすることで色が変わる

コピーして利用



選定された項目を関連付け具体的な指導内容を設定する

具体的な指導内容						
----------	--	--	--	--	--	--

⑦ 選定された項目を関連付けて、具体的な指導内容を入力する
(関連する項目が分かるように、指導内容ごとに色分けされた矢印で結ぶ)

自立活動目標設定シート

⑧ 具体的な指導内容を、どの場面で指導するかを入力する

指導場面 (教科等・単元名等)	教科等	単元名等	教科等	単元名等	教科等	単元名等

自立活動 目標	前期	後期

⑨ 各学期の指導目標を入力する

「目標」に入力した内容が自動的にリンクし、転記される

⇒ 『各教科等を合わせた指導 教科等別シート』、 『個別の指導計画シート』へ



書き方に迷ったら

自立活動目標設定シート（自立活動フローシート改訂版）

学部・学年 _____ 年 組 _____ 氏名 _____ A

障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよき、課題等について
 情報提供して、学習指導要領の状況・様子を定める

※ 特別支援学校教育要領・学習指導要領
 リンクは [こちらから](#)

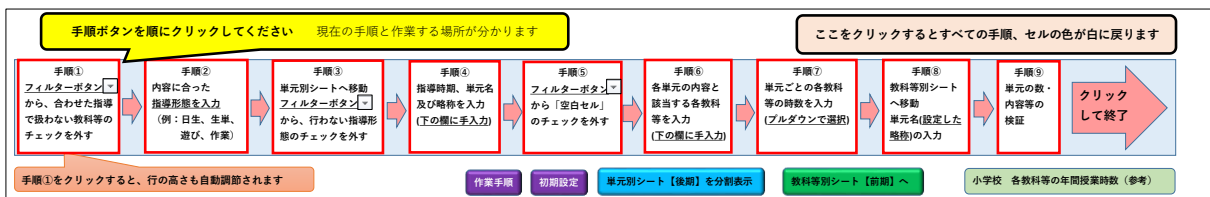
各障害種別記載例（外部リンク）

外部リンクのボタンをクリックすることで、各障害別記載例が表示される

枠外のリンクをクリックすることで、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚園部・小学部・中学部）』が表示される

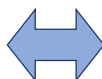
各教科等を合わせた指導 教科等別シート・単元別シート

シート上部の手順を順にクリックすることで、入力、確認する場所が示される



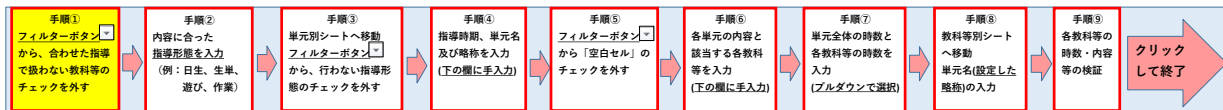
『教科等別シート』と『単元別シート』を移動しながら入力することで、各教科等と合わせた指導のつながりを明確にしながら、合わせた指導の単元を検討できる

各教科等を合わせた指導		教科等別シート【前期】	
	各教科等A	自立活動A	各教科等B
	A		B
生活 (特)	内容	学校探検 公園探検	
	指導形態	日生 生単	
	単元（略称）	朝学公	
国語	内容	ひらがな カタカナ	
	目標	体験したことを短い文に書く	



各教科等を合わせた指導		単元別シート【前期】	
	各教科等A	自立活動A	各教科等B
	A		B
指導形態	時期(月)	単元略称	内容
日無生専活	4~9	朝の会	元氣にあいさつをする。 時計を見て行動する。 朝の会でスピーチをする。
	4~5	たんご	学校にある様々なものを見つける。 見つけたものを発表する。 学校にある教室の数を調べる。
			教科等内容
			生算国
			生
			国算

手順① 教科等別シートに入力



各教科等を合わせた指導 教科等別シート【前期】

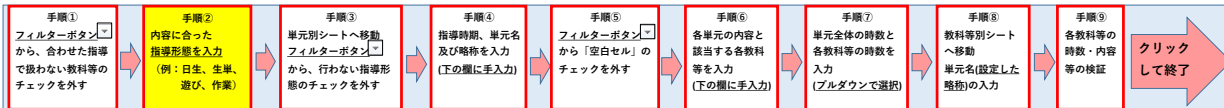
フィルターボタンをクリックする

合わせた指導で扱わない教科等のチェックを外して、「OK」

合わせた指導の入力に関して不要な枠を非表示にできる

1年生		3年生	
教科別時数	合わせた指導時数	教科別時数	合わせた指導時数
15		15	
0	15	0	15
13		13	

手順②



各教科等を合わせた指導 教科等別シート【前期】

この欄には、『各教科等目標設定シート』の「内容」欄が転記される
※ 修正する場合は、『各教科等目標設定シート』に戻って修正

各教科等の目標を達成するために行う合わせた指導の指導形態（日生、生単、遊び、作業）を記入する
※ 指導形態ごとに色分けをすると分かりやすい

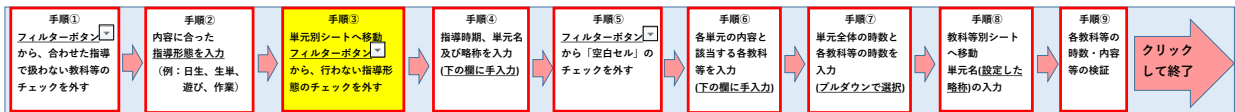
各教科等A			
生活(特)	生活科	51	
	指導形態	0	51
国語	国語	51	85
	指導形態		

記入された指導内容をすべて取り扱わなければならないというわけではない

(ここに記載される内容は、教科等別に取り扱う内容も含む)

※ 予定していた内容ができなかった場合は、次期や次年度に引き継ぐようにする

手順③ 単元別シートに入力



各教科等を合わせた指導 単元別シート【前期】

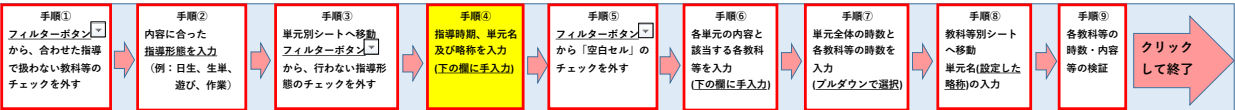
指導形態	時期(月)	単元	単元略称	内容	教科等	単元時数	生活	国語	算数	音楽	図工	体育	外国語	道徳	特活	自活
朝の指導	4 5 9	朝の会	朝	・元気にあいさつをする。 ・時計の読み方を知る。 ・朝の会ですべての教科等について話す。	生 算 国 道 徳	25	10	10	5							
遊びの指導	4 5 5	がっこうたんけん	学	・学校の様子を知る。 ・見つけたものを紹介する。 ・学校の交流する。	生 算 国 道 徳	18	5	3	3							4
	5 ~ 7	たのしいうんどうかい	運			0										

フィルターボタンをクリックする

合わせた指導で行わない指導形態のチェックを外して、「OK」

合わせた指導の入力に関して不要な枠を非表示にできる

手順④

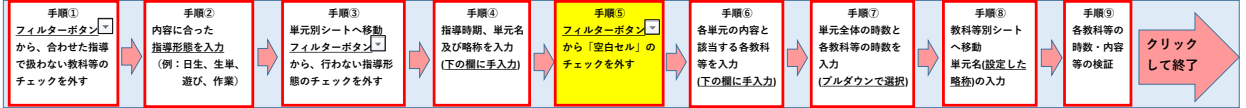


各教科等を合わせた指導 単元別シート【前期】

指導形態	時期(月)	単元	単元略称	各教科等A		各教科等B		単元時数	生活	国語	算数	音楽	図工	体育	外国語	
				内容	教科等	内容	教科等									
日常生活	4 5 9	朝の会	朝	・元気にあいさつをする。 ・時計の読み方を知る。 ・朝の会ですべての教科等について話す。	生 算			25	10	10	5					
生活単元学習	4 5 5	がっこうたんけん	学	・学校の様子を知る。 ・見つけたものを紹介する。 ・学校の交流する。	生 算 国 道 徳											
	5 ~ 7	たのしいうんどうかい	運					0								

指導の時期、単元名、単元の略称を入力する
※ 単元の略称は、『教科等別シート』と照合するために使用する (例: 朝の会→朝、がっこうたんけん→学 など)

手順⑤



各教科等を合わせた指導 単元別シート【前期】

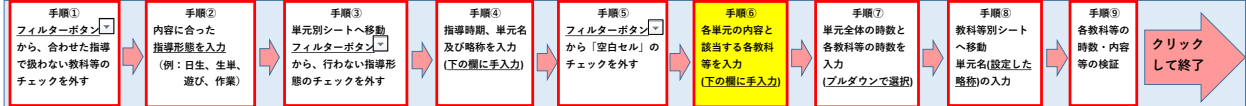
指導形態	時期(月)	単元	単元略称	内容	教科等	単元時数	生活	国語	算数	音楽	図工	体育	外国語
日常生活	4 5 9	朝	朝	・元気にあいさつをする。 ・時計を見て行動する。 ・朝の会でスピーチをする。	生 算 国	25	10	10	5				
生活単元学習	4 5 5	たんけん	学	・学校にある様々なものを見つける。 ・見つけたものを発表する。 ・学校にある教室の数を調べる。 ・交流学級の友達と一緒に活動する。	生 国 算 自	15	5	3	3				
	5 ~ 7	の し い う ん ど う か	運										

フィルターボタンをクリックする

(空白セル)のチェックを外して、「OK」

入力されていない空白の枠を非表示にできる

手順⑥



各教科等を合わせた指導 単元別シート【前期】

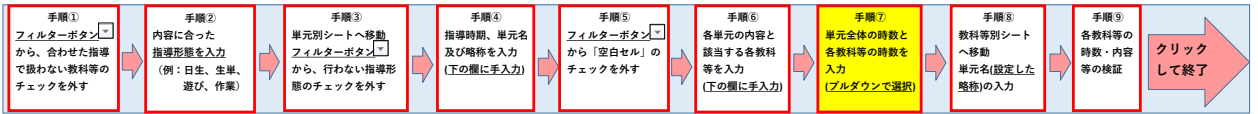
指導形態	時期(月)	単元	単元略称	内容	教科等	単元時数	生活	国語	算数	音楽	図工	体育	外国語	道徳	特活	自活
日常生活	4 5 9	朝の会	朝	・元気にあいさつをする。 ・時計を見て行動する。 ・朝の会でスピーチをする。	生 算 国	25	10	10	5							
生活単元学習	4 5 5	たんけん	学	・学校にある様々なものを見つける。 ・見つけたものを発表する。 ・学校にある教室の数を調べる。 ・交流学級の友達と一緒に活動する。	生 国 算 自											4

児童生徒個々の指導内容・活動内容を入力する
※ 教科等別シートを参照しながら、各教科等の指導内容・活動内容について入力する

それぞれの「内容」が、何の教科等に該当するかを「教科等」の欄に入力する

単元ごとに、どの教科のどの内容を合わせて取り扱うかを検討することができる

手順⑦



各教科等を含めた指導 単元別シート【前期】

指導形態	時期(月)	単元略称	各教科等A		各教科等B		単元時数	生活	国語	算数	音楽	図工	体育	外国語	道徳	特活	自活
			内容	教科等	内容	教科等											
日常生	4	朝の会	・元気にあいさつをする。 ・時計を見て行動する。 ・朝の会でスピーチをする。	生 算 国			25	10	10	5							
生活単	4	たんず学	・学校にある様々なものを見つける。 ・見つけたものを発表する。 ・学校にある教室の数を調べる。	生 国 算			15	5	3	3							4

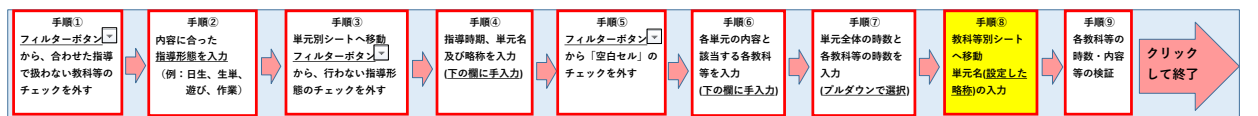
単元ごとに、どの教科等を何時間ずつ取り扱うかを入力する
※ 入力はプルダウンから行うこともできる

「単元時数」の欄は、各教科等の時数から自動的に合計される (入力はいらない)

単元ごとに、どの教科等を何時間合わせているのかを検査することができる

各教科等の合計時数は『教科等別シート』に転記され、教科等別の時数の検討に用いられる

手順⑧ 教科等別シートに入力



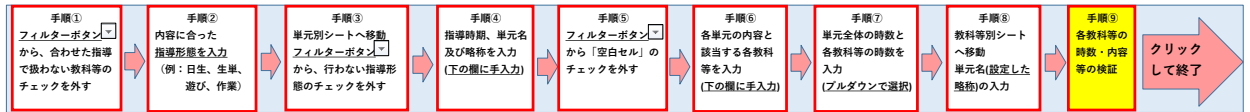
各教科等を含めた指導 教科等別シート【前期】

教科等	内容	指導形態	単元(略称)	教科等の前期合計時数 1年生		教科等の前期合計時数 3年生	
				教科別時数	合わせた指導時数	教科別時数	合わせた指導時数
生活(特)	生活科	あいさつ	朝の会	0	51		
国語	国語	ひらがなカタカナ 体験したことを短い文に書く 体験したことや思ったことを発表する	たんず学	136			
算数	算数	一位数×一位数の計算 形づくり	たんず学	51	85		
				68			

手順④で『単元別シート』に入力した単元の略称を入力する

『単元別シート』において手順⑥で入力した各教科等、手順⑦で入力した時数と対応させることで、各教科等と合わせた指導の関連が明確になる

手順⑨



各教科等を合わせた指導 教科等別シート【前期】

		各教科等A	自立活動A	各教科等B	自立活動B	教科等の前期合計時数 1年生		教科等の前期合計時数 3年生	
		A		B		教科等別 時数	合わせた指導 時数	教科等別	合わせた指導
生活 (特)	内容 生活科	学校探検 公園探検 あいさつ							
	指導形態	日生 生単							
	単元(略称)	朝学公				0	51		
国語	内容 国語	ひらがな カタカナ 体験したことを短い文に 体験したことや思ったこと							
	指導形態	日生 生単							
	単元(略称)	日学連公				51	85		
算数	内容 算数	一位数×一位数の計算 形づくり 大きさを比べ							
	指導 単元	合わせた指導の各単元と各教科等が対応しているか、 時数に偏りがないかを確認することができる							
						136			
						68			
							34		

時間割にある教科等の授業の各学期の見込み時数
※『初期設定シート』から自動計算される

各学期の合計時数
※教科等別時数と合わせた指導時数が自動的に合計される
合わせた指導で取り扱う各教科等の授業時数
※『単元別シート』の手順⑦で入力した時数が転記される

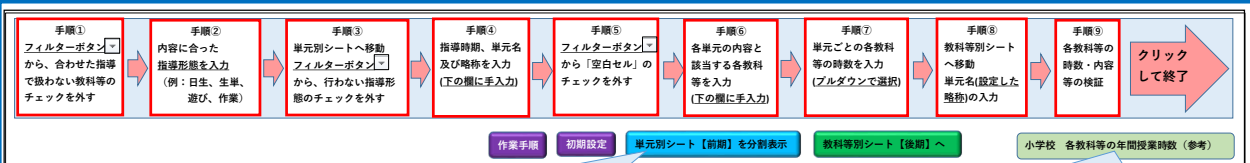


入力中に各教科等の目標や時数等を確認したいときは

各教科等を合わせた指導 教科等別シート【前期】

		各教科等A	自立活動A
		A	
生活 (特)	内容 生活科	学校探検 公園探検 あいさつ	
	指導形態	日生 生単	
	単元(略称)	朝学公	

児童生徒それぞれのリンクボタンをクリックすることで、『各教科等目標設定シート』『自立活動目標設定シート』が分割表示される

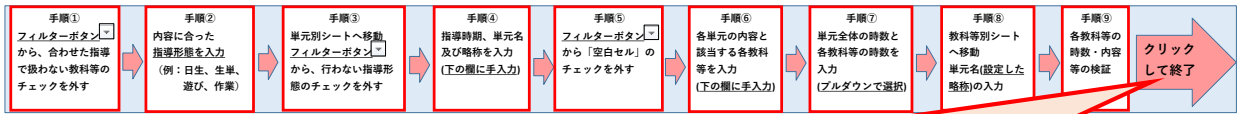


単元別シートを分割表示して作業を進めることができる

小学校(中学校)の各教科等の年間授業時数を参考にすることができる



手順⑨までの入力・確認が終わったら



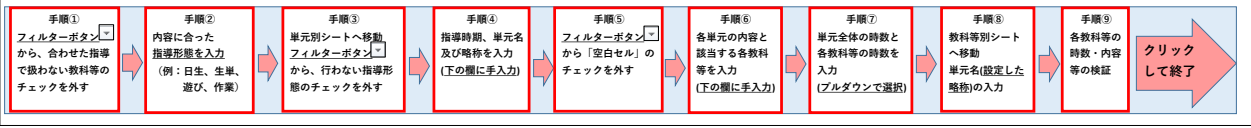
「クリックして終了」をクリックすると、『個別の指導計画シート』に移動する
(シート見出しから移動してもよい)



入力中に手順の枠やセルの色を、黄色から白に戻したいときは

手順の上のボタンをクリックすることで、
手順の枠とセルの色がすべて消える

ここをクリックするとすべての手順とセルの色が白に戻ります



個別の指導計画シート

個別の指導計画【前期】

① 年間目標を入力する
(次期以降の年間目標の枠には、自動的に転記される)

② 三つの柱による目標に対応させて、3観点で評価を行う

③ 次期の目標や支援について検討するためのメモ欄として
使用できる

	目標	内容	評価	次期の目標	内容
行の高さの自動調節	生活(特)	学校探検や公園探検等を通して様々なことに気づき、気付いたことを絵や文に表すとともに、交流学級の友達や地域の方々とも意欲的に交流することができる。	学校探検 公園探検 あいさつ		
	国語	ひらがな・カタカナを身に付け、体験したことを思い出して短い文に書くとともに、意欲的に自分が思ったことを発表することができる。	ひらがな カタカナ 体験したことを短い文に書く 体験したことを発表した		
	算数	具体物や図などを用いながら簡単な計算をすることができ、進んで生活に活用しようとする。	一位数÷一位数 形づくり 大ききくらべ 時計		

「目標」「内容」は『各教科等目標設定シート』から自動的に転記される
※ 修正する場合は、『各教科等目標設定シート』に戻って修正

このシートに入力した3観点での評価は、指導要録にも反映させることができる



「個別の指導計画」シートの便利な機能

フィルターボタンから、実施しない教科等を非表示にすることができる

行の高さの自動調節

「行の高さの自動調節」のボタンをクリックすると、転記された各行の高さが調節される

シート下部に入力についての注釈や『学習評価参考資料』へのリンクなどがある

三つの柱の視点で記載されているか確認してください。
(道徳、自立活動を除く)
※詳細は「各教科等目標設定シート」を参照

「各教科等目標設定シート」で記入した各教科等の内容が転記されます。
※この欄についてはシートの保護を外してありますので、各校の個別の指導計画等の様式に応じて、記入する内容を変更しても構いません。
(変更しない場合は、誤って計算式を消さないように注意してください。)

観点別学習状況の評価の観点
「知識・技能」
「思考・判断・表現」
「主体的に学習に取り組む態度」
の3観点で記載してください。
(道徳、自立活動を除く)

「評価」を基に次期の目標を考えます。
「次期の目標」「内容」ともに、メモ書き程度でかまいません。
(次期の個別の指導計画にはリンクしません。)

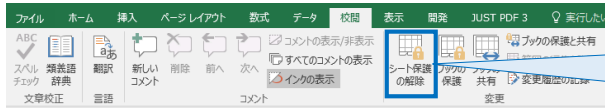
(参考) 外部サイトへのリンク
特別支援学校小学部・中学部
学習評価参考資料
令和2年4月 文部科学省

ページの表示、印刷

フォントや枠の調節は、自由に行うことができる

全てのシートの行の高さや列の幅、入力できるセルのフォントサイズ等は自由に変更が可能

※ 行の高さを自動調節するボタンがあるシートもある



保護されているセルについて変更する場合は、「シート保護の解除」が必要
※ 計算式が入力されたセルも変更可能になるため、要注意

印刷範囲や用紙サイズ等は、用途に応じて変更が可能

「ページレイアウト」や「改ページプレビュー」、「ウインドウ枠の固定」などはすべて変更が可能

各教科等目標設定シート (各教科等チェックシート改訂版)

学年・学期	年 級	班	氏 名									
小学部 (段階)	1	2	3	4	5	6	目標 (数(4))	内容	評価			
生活 (特別支援学校)	ア	基本的な生活習慣	イ	安全	ウ	日課・予定	エ	遊び	カ	役割	キ	喜び、仕事
生活科												

シート内のオブジェクト (図形等) は、画面上には表示されているが、印刷されない設定になっている

お助けツール Q & A

Q1 初期設定シートの各教科等の週当たりの授業時数を入力する表に、なぜ合わせた指導の時数を入れないのですか。

- A1・合わせた指導は指導形態であり、指導しなければならない教科等ではないからです。
- ・本ツールでは「各教科等を合わせた指導 教科等別シート」と「各教科等を合わせた指導 単元別シート」によって、合わせた指導における各教科等の時数が算出できるようになっています。初期設定シートで入力した各教科等の時数は、この時に用いられます。
 - ・初期設定シートの授業時数欄にある各教科等以外の時数については、それらを一週間当たりの時数にして「その他」の欄に入力してください。

Q2 初期設定シートの各教科等の週当たりの授業時数を入力する表に、なぜ小学校用には「理科」「社会」がなく、中学校用には「技術・家庭」がないのですか。

- A2・初期設定シートの授業時数欄は、合わせた指導における各教科等の時数を算出するために、知的障害特別支援学校小学部・中学部の各教科等で構成されているからです。
- ・小学校の場合、「理科」「社会」は知的障害特別支援学校小学部の各教科に編成されていないため、合わせた指導で合わせることができません。
 - ・中学校の場合、「技術・家庭」は知的障害特別支援学校中学部の各教科に編成されていないため、合わせた指導で合わせることができません。
 - ・小学校で「理科」「社会」、中学校で「技術・家庭」を実施する場合は、「その他」の欄に週当たりの時数を入力してください。

Q3 初期設定シートの各教科等の週当たりの授業時数を入力する表の「生活」は、小学校1、2年生で実施する「生活」のことですか。

- A3・ちがいます。知的障害特別支援学校小学部の各教科の「生活」です。
- ・小学校1、2年生で実施する「生活」は、知的障害特別支援学校小学部の各教科ではないため、合わせた指導で合わせることができません。
 - ・小学校1、2年生で実施する「生活」の時数は、「その他」の欄に入力してください。

Q4 各教科等目標設定シートの実態把握のチェック欄は、達成したところにチェックするのですか。また、小学部(段階)と小学校(学年)の両方にチェックしていいのですか。

- A4・達成したところにチェックするのではなく、現在取り扱っている目標や内容のところに●をつけてください。
- ・小学部(段階)と小学校(学年)の両方に●をつけても構いません。

Q5 各教科等目標設定シートの目標（三つの柱で記入）と内容は、どのように入力すればいいのですか。

- A5・目標については、三つの柱を分けて箇条書きで入力しても、三つの柱を一文にして入力しても構いません。「記入例」を参考にしてください。
- ・三つの柱を、赤→「知識及び技能」、青→「思考力、判断力、表現力等」、緑→「学びに向かう力、人間性等」に色分けして入力することをお勧めします。
 - ・内容については、取り扱う内容を箇条書きでも一文にしても構いません。

Q6 自立活動目標設定シートの「実態把握」の欄は、6区分全ての項目について記載しないといけないのですか。

- A6・六つの欄全て記入しなければならないわけではありません。
- ・自立活動の指導を行う上で、重点的でないと判断した項目は空欄でも構いません。

Q7 自立活動目標設定シートの「課題の整理」の欄は、どのように設定したらいいですか。

- A7・まず、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」の「自立活動の内容」等をご覧くださいことをお勧めします。
- ・「実態把握」の入力部分から中心的な課題を取り上げてより具体的に入力すると、目標を設定する際に役に立ちます

Q8 各教科等を合わせた指導単元別シートの時数はどのように設定したらいいですか。

- A8・①各教科等の時数の合計が単元時数になるように各教科等の時数を設定してください。
※時数については一人分を想定して入力してください。
- ・②教科等別シートに各教科等の時数が反映されます。
 - ・「各シートの説明書」を参考にしてください。

Q9 各シートを活用して情報共有したいのですが、1枚におさまるように印刷するにはどうすればいいですか

- A9・印刷したい範囲を選択し、「ファイル」→「選択した部分を印刷」→「シートを1ページに印刷する」を選択します。
または、「表示」→「改ページプレビュー」で、印刷範囲を指定します。
- ・シートによっては非常に小さくなってしまうため、必要に応じてA3で印刷することをお勧めします。

Q10 合わせた指導では、通常の学級の各教科等は合わせられないのですか。

- A10・合わせた指導（遊びの学習、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習等）としてはできません。
- ・小学校学習指導要領（平成29年告示）第1章総則、第2教育課程の編成、3（3）「エ 児童の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、児童の発達の段階や指導内容の関連性等を踏まえつつ、合科的・関連的な指導を進めること。」から、小学校の通常の学級の教科等は、合科的な指導として合わせる事が可能といえます。